

国立歴史民俗博物館 国際研究集会

『百済の国際交流 - 武寧王陵の最新研究をめぐって - 』

開催主旨

近年、古墳時代の日韓交流が盛んに議論されています。とくに 6 世紀における倭と百済の交流を考えるには、中国南朝や倭との交流に関わっていた百済・武寧王の活動を欠くことができません。

歴博の基幹共同研究を基にしたこの研究集会では、現在再調査分析が行われている韓国公州の武寧王陵出土遺物に関する最新の研究成果と、関連する文物の研究を紹介しながら、百済を媒介とした 6 世紀における東アジアの国際交流を考えます。

会期：2005 年 12 月 9 日（金）

会場：国立歴史民俗博物館 講堂（予定）

会場は博物館内で変更になる場合があります。当日博物館にてご確認ください。

プログラム

10 時 30 分 開場（受付開始）

1．基調報告

11：00 主旨説明

11：10 上野祥史（国立歴史民俗博物館）

「5・6 世紀の中国鏡と国際交流」

（11：50～13：00 昼食）

13：00 桃崎祐輔（福岡大学人文学部）

「銅鏡からみた 6 世紀の国際交流」

13：40 高田貫太（岡山大学埋蔵文化財調査研究センター）

「装身具からみた 6 世紀の日朝交渉 百済と倭を中心に」

14：20 申 昌秀（韓国国立公州博物館長）

「百済の国際交流」

（15：40 休憩）

2．討論 15：50～17：00 （司会：広瀬和雄、仁藤敦史）

（17：00 閉会）

各報告題は変更される場合があります。

定員：200 名

参加方法：事前申し込み制（先着順）。E-mail もしくは FAX でのみ受付いたします。

下記までご芳名、ご住所、電話番号、参加人数をお書き添えの上、申し込みください。

E-mail：baekje@rekihaku.ac.jp

FAX：043 - 486 - 4299（研究集会「百済」事務局 担当：中條宛と記載してください）